



2019年7月22日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。議会の休会によって年金改革の進展が見られない中、中国の弱い経済指標などを受けたリスク回避の動きからブラジル・レアルは売られました。

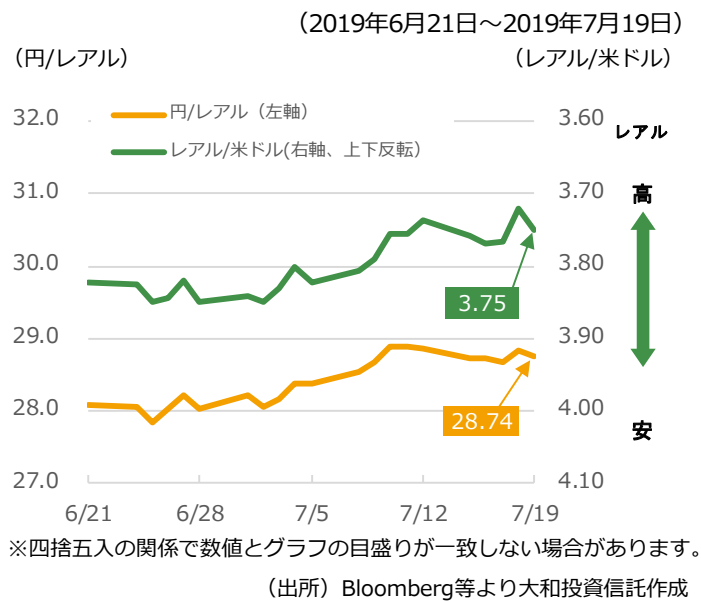
経済指標に関しては、5月の経済活動指数などが発表されました。経済活動指数は前月比・前年比とも市場予想通りとなりましたが、今年に入って初のプラスとなりました。一方で第2四半期を通じてプラスとなるには6月にさらに強い内容となる必要があるため、引き続きGDP（国内総生産）が2四半期連続でマイナス成長になる可能性が高いと考えます。足元、市場の2019年の予想GDP成長率も引き下げが続いており、今月末に予定されているブラジル中央銀行の政策金利発表に注目したいと思います。

今週の見通し

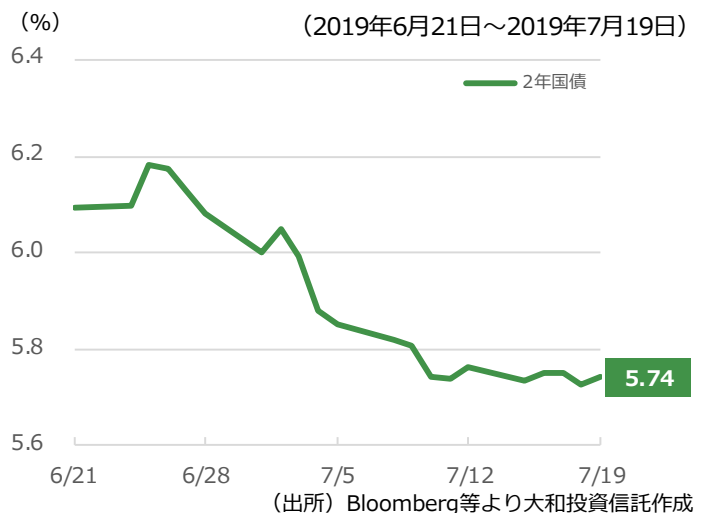
今週は各種インフレ率などの経済指標の発表が予定されています。

議会の休会によって年金改革の進展が見られないため、議会再開までは外部要因に左右されやすい展開になると考えます。一方ブラジル国内では、足元の弱い経済を受けてゲデス経済相が300億レアルの景気刺激策を表明するなど経済活性化に向けた動きも見られます。また、今月末のブラジル中央銀行の政策金利発表では0.25%~0.5%の引き下げが行われるとみられており、経済・金融政策の動向にも注目です。

ブラジル・レアル 為替推移



ブラジル 金利推移



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。